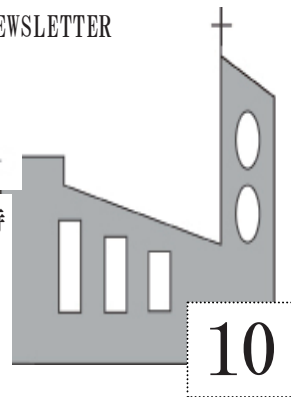


カトリック大名町教会ニュース

DAIMYOUMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分/ベトナム語（第2・第4日曜日）：13時半/英語：16時

〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時

TEL：092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者：中村 彰 神父

10月 ロザリオの月

福岡教区年間目標：互いに支え合う「交わりの教会」となる

大名町教会年間テーマ：互いに支え合う「交わりの教会」となる

Becoming a "Church of communion" and mutual support

10月のお知らせ

- ◆カタラント：3, 10, 12, 17, 19, 24, 26, 28, 31日
- ◆ふれあいの会：6日（日）
- ◆講演会：6日（日）「心のふるさと日本を語る」
14時～16時 主催：福岡地区信徒使徒職協議会
- ◆朗読奉仕者の集い：
13日（日）10時45分
- ◆エキュメニズム部会
16日（水）19時
- ◆炊き出し 18日（金）21時
- ◆講演会：19日（土）「誰もが平和を求めています」
13時30分 講師 松浦 悟郎 司教
主催：「正義と平和・人権」部門・ピース9の会
- ◆教区100周年委員会 20日（日）15時～17時
- ◆秋のランチ会 26日（土）12時～14時
（日本語G、英語G、ベトナム語Gみんなのランチ会）
- ◆シノドス的实践Ⅱ「共に歩む教会」の集い
27日（日）10時50分～12時40分



（上）9月8日の「長寿の祝い」のミサに与り、信徒の皆さんから祝福を受けたご長寿の方々。
（左）教会学校の子どもたちからは、「神さまといつもいっしょ」の歌のプレゼント。

◆中村彰神父：*キリスト教入門講座
（24日休講）10時 19時

聖書学習会

◆チュエン神父：聖書のわかちあい
14時

ゆるしの秘跡：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。（定期：毎週土曜日10時～11時半）

神の武器

エフエソの信徒への手紙6章11節から19節に、悪と戦うために神の武器を身に着けるように勧められています。少し長いですが引用します。

「悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武器を身に着けなさい。立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい。なお、その上に信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者の火の矢をこごとく消すことができるのです。また、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。どのような時にも、霊に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい」。

神の武器として真理、正義、福音、信仰、救い、神の言葉、聖霊、祈りがあげられています。

10月は教会の典礼歴ではロザリオの月となっています。ロザリオも霊的な武器と言われます。ロザリオを唱えながら、聖書の場面を黙想すること、祈りを必要としている人を思い起こして神の恵みを願うこと、自分の生活を反省しながら改善する点の照らしを願うこと、マリア様と共にキリストへの信頼と愛を込めて祈ること、世界平和のため、罪人の回心のために祈ること等、いつでもどこでも唱えられる信仰の武器を大切にしましょう。

カトリック大名町教会
主任司祭 ヨセフ 中村彰 神父

2024年の長寿を祝うつどい

キリストの枝につながって!



(上) 教会学校の子どもたちからの手紙。

(右) 百歳を超えた信徒の方に赦しの秘跡を授けた喜びを語り、みなさんのますますの長寿を願い、神様の祝福を祈られた中村神父さま



(上) 長寿のみなさんに味わっていたかどうかと、厨房でお茶の準備をする女性のみなさん

教会学校の仲間と大神学校へ

9月22日(日)朝からの雨がやんで前日までの猛暑が少し涼しくなり、ほっとした9人のリーダーと、小学生13人の教会学校の子どもたち、保護者2人は、旧大神学校で教会学校サマーキャンプを行いました。



2024年の教会学校のサマーキャンプ 旧神学校で

会)の話は、聖堂内のイエス様の絵に見入り、どこにでもいてくださるイエス様を感じ深呼吸でたたくさん吸う、要らないものはすっかすっか吐き出す。不思議な体験でした。

参加した子どもたちの感想

☆最初についたとき、「うあ、広い」と感じました。神父様の話が終わって、十字架の道行きをしたあと、カレーを作りました。



包丁を使うとき、ちよつと心配になりました。けれど、も上手に切れて安心しました。みんなで作り終わって「カレーはもろろんおいしい」と思いました。次にみんなどで栗を拾いに行きました。手が痛いのです。栗をしてみんなで力を合わせました。いいものがどんどん出てきて、3時のおやつに間に合って食べました。とても楽しい一日でした。また行きたいです。先生たちありがとうございます。

☆野球が楽しかったです。特に打つのが楽しかったです。次は2泊3日にしたいです。カレーライスがおいしく最高だったので、もっとおいしく作りたいです。ありがとうございます。

☆お友達と仲良くなれたし、思いつきり野球ができて楽しかったです。

リーダー エリザベト 水谷純子

2024 聖モニカ祭

8月31日(土)、福岡地区女性の会主催の聖モニカ祭が開催されました。アベイヤ司教様はじめ8人の司祭、助祭による感謝ミサと追悼式が執り行われました。参加者は200名近く、追悼者は234名でした。大名町教会所属の40名の方が帰天されました。教会共同体を共につくり、長年支えられた方々の永遠の安らぎを、参加者全員心を合わせて祈りました。英語ミサ、ベトナム語ミサの方たちと共に厳かな中にも心温まるひとときを過ごしました。

マルグリット・マリー 鈴木尚美

講演会 「つながる喜び」

9月23日(月・振替休日)、「つながる喜び」をテーマに、福岡教区宣教養成委員会主催の講演会が開催されました。講師は臨床心理士の児島達美氏(浄水通教会信徒)。

サブテーマ「より豊かな会話」の中で、心に届く言葉を養うためのヒントを挙げ、「話す」と「聴く」、「何を話すか」と「どう話すか」、「討論」と「おしゃべり」、「共感」と「合わせる」という会話における言葉の働きについて話されました。一部では、休憩時間を挟んで参加者からの紙面での質問に答える時が持たれました。

人の話を聴くこと、責める気持ちを打ち払うこと、自分と違った考えが力になること、お互い各々違うことが前提でほどよい信頼関係を作ることなどが語られました。対面での会話が少なくなっていることを実感する中で、日ごろの自分の言葉や会話

を振り返る機会となりました。

シノドスの実践Ⅱ 「共に歩む教会」の集い

「シノドス」とは「共に歩む」という意味。教皇様がそれまでの世界代表司教の会議だったシノドスを全信徒に開きました。大名町教会も宣教司牧評議会宣教部が主催し、教区の信徒養成部門のレナト神父様と委員の安藤智子さん(西新教会信徒)の同伴で、シノドスの実践Ⅰとして、すでに「交わり」「参加」「宣教」のテーマで3回の学習会を実施しました。

9月29日(日)、シノドスの実践Ⅱを始めました。祈り、聖歌を歌い、みことば「ルカ24・13〜21」を聴きました。レナト神父様は、二人の弟子がイエスさまのことを語っている内容は、信仰宣言であること、教会の問題は山積と言われている中で、みことば中心の信徒同士の分かち合いは希望「暗い顔」の二人の弟子が知らない人に出会うことは、私たち自分の信仰生活にも光が見えるのではないかと話されました。

参加者40人が数人ずつのグループに分かれて分かち合いをしました。「いろいろなことに心配し、気がふさがちでしたが、救われた」「心に響く言葉をたくさん聞くことができた」「共に歩むシノドスの意味が見いだせた」などの感想がありました。第2回は10月27日、第3回は11月10日です。イエス様が殺されて「暗い顔」で故郷に帰って行く二人の弟子は、誰に出会い、どんな生き方に変わっていくのでしょうか。そこから私たちはどんなメッセージを受け取るでしょう。ぜひご参加ください。

宣教司牧評議会

(9月15日)

◆議題

- 1 教会規約改定委員会人選について
・評議員の選び方等教会規約を見直すため下記のメンバーで検討委員会を立ち上げる。
検討委員：中村神父、吉田信徒会長、岩村副会長、大石副会長、久志昇
- 2 英語・ベトナム語ミサグループを含めた大名町教会全信徒での「秋のランチ会」を開催する。
・日時：10月26日(土) 12:00～14:00
場所：1F講堂
- 3 日曜日の聖堂回りや駐車場の清掃は特定の人に依存しているのも、もっと多くの奉仕者を募って当番体制を広げたい。総務部より呼びかけを行なっていくことになった。
- 4 その他

- (1) 街頭募金等に使用するカトリック大名町教会の「のぼり」を更新する。看板・掲示板等での一連のデザイン協力への謝意も含めてデザイン料として3万円を支払うことで承認された。
- (2) 福岡の最低賃金が時給992円に引き上げられる事に伴い、パート職員給与について、10月支給分から現行950円を1,000円に引き上げる事で承認された。

◆報告事項

- 1 各委員会報告
(1) 第3回カテドラル使用検討委員会
・外部に貸与する施設・設備や対象者、献金額等について資料に基づき検討

状況の報告があった。特に、信徒会館については大名町教会の信徒が自由に交流するために信徒の費用で造ったものであり、本来の趣旨に則った運用をすることとして外部への貸出の対象とはしない。同時に、応接室は信徒の相談の場としていつでも利用できるよう会議・集い等での使用は控える。
・通夜を教会で行いたいとの希望があった場合の取り扱いについては改めて検討する。

(2) 第4回駐車場検討委員会

・駐車場の利用にあたっては自己責任が原則であり、譲り合いの精神で利用するために必要なことが報告された。全信徒への説明を行い、考え方を共有したあと利用にあたっての約束事を最終決定する。

- ① 公共交通機関の利用促進や利用者ノットへの記載、献金を呼び掛ける。
- ② 障がい者や高齢者のための優先車両駐車枠を現行2台から3台へ増やす。
- ③ 「大名町教会行事予定表」の掲示や外国語ミサG間での行事予定の情報共有を行って、円滑な駐車場利用に資する。

(3) 看板・掲示板検討委員会

- ① ミサ案内板、掲示板前の植栽については伐根して整地をした上で、その後の対応を検討する。
- ② ミサ案内板に併せて駐車場内の掲示板についても文言の表現を柔らかくして更新した。

(4) 各部活動報告

- ① 長寿のお祝いの当日参加者は57名であった。返信をいただいた方は207名。また、評議員を除いて1

- ② 5名の信徒にお手伝いただいた。一連の看板・掲示板改善工事は9月14日に完了した。
- ③ 8月11日平和の集いを通して、100名以上の方が愛のメッセージを書いてくださり8月18日に奉納出来た。

- ④ 典礼部の集まりの中で出た課題について下記を含む何点かの報告があった。
1) ミサ中の沈黙の「間」を大切にしたい進行を心がけている。そして、かなり改善がみられる。
2) 降誕祭ミサの回数・時間については今後検討する。
3) 聖母の被昇天と神の母聖マリアの時はミサ中手話をお願いする。

- ⑤ 教区信徒協会は8月25日に解散する。名称を変更して新組織として残すことも検討されている。
・2023年度末の会計残額162,554円は信徒数に応じて各地区信徒協に返金する。

- ⑥ 9月22日(日)に教会学校のサマーカーキャンプを旧カトリック神学院で行なう。
- ⑦ 11月17日(日)に七五三祝福式を行なう。

大名町教会の現勢 9月

【結婚】 おめでとございます
9月7日

・マクラウド・アーサー・リー
テレジア 一木 ゆかり

【帰天】 永遠の安息を祈ります
9月4日

・マリア・マグダレナ 村尾 慶子

ミサ 第1部 「ことばの典礼」

ミサの「開祭」を締めくくる集会祈願が終わると、一同着席して「ことばの典礼」が始まります。ここで聖書の朗読を通して神ご自身がわたしたちに語りかけられます。主日や祭日には旧約聖書(復活節は使徒言行録)、使徒たちの手紙、福音朗読の三つがあります。「みことばの食卓」と呼ばれる朗読台から命の糧であるみことばが供され、わたしたちは拝聴し答唱詩編を歌って答え、説教を通して味わい、共同祈願をささげてすべての人のために祈ります。

「ことばの典礼」の頂点は福音朗読です。「聖書が教会で読まれるとき、キリスト自身が語られる」(第2バチカン公会議)のです。それで、福音朗読には特別の敬意が払われます。司祭は、入堂の時に奉持し祭壇上に安置しておいた福音朗読書を手にとって高く掲げ、ろうそく(時に香炉も)を持つ侍者に先導されて朗読台まで行列します。会衆は起立し、アレルヤ唱を高らかに歌ってキリストを迎えます。司祭と会衆は「主は皆さんとともに」「またあなたとともに」と言ってキリストが今ここで語られようとしていると宣言します。額と口と胸に小さく十字架のしるしをして、みことばが全身全霊に染み渡ることを自覚します。

朗読が終わると司祭は「主のみことば」と高らかに言い、会衆は「キリストに賛美!」と応唱します。非常にドラマチックな場面です。ミカエル 深堀 純